

菱みず

社報 2016.8.23

Summer Vol.74

HISHIMIZU

残暑お見舞い申し上げます



2・3 **ドイツ建築視察ツアーに参加して**

4 **「カウム」の町** シュタイン・アム・ライン

5・6 **パートナー施工店様勉強会2016を開催
新製品発表会2016を開催**

7・8 ■現場紹介
阪急電鉄 正雀工場

■技術通信

9・10 **ナノコンポジットF**

11 **パワーアシストクリヤーF**

12 **水系ボウジンテックス プロエポプライマー**

13・14 ■私たちのお得意さま

13 『有限会社めら塗装工業』 代表取締役 女良 康臣 様

14 『株式会社松本薬品』 代表取締役社長 松本 信吾 様

15～18 塗装実績

表紙説明

バウハウス(デッサウ)

バウハウスは工芸・写真・デザインなどを含む美術と建築に関する総合的な教育を行った学校で、ドイツ語で「建築の家」と訳される。もともと第一次大戦後に1919年ヴァイマルに設立されていたが、1925年にデッサウに移転した。建築当時、それまで三角系の屋根しか存在しなかったドイツに初めて陸屋根が採用され革新的なデザインとして注目された。芸術と技術の融合を目指したデザイン理念の斬新さは目を見張るものがあった。しかしナチスの台頭により、このような自由発想(奇抜な建築物)は弾圧され1933年に閉鎖した。わずか14年しか存続しなかった学校だが、講師や卒業生が世界中で活躍することにより、デザイン思想が伝わり発展した。現在は世界遺産に登録されている。

歴代校長では有名なヴァルター・グロピウスやミースファン・デル・ローエらがあり、カウム塗料が塗装されている。

水谷ペイント株式会社

経営理念

生き甲斐を造る
打ち出の木槌

豊かな人間性を持ち
無限の智慧を資源とし
協働して価値を産み
快適な生活・文化に
貢献する

平成四年一月
水谷ペイント株式会社

環境・品質・安全方針



JQA-2631(合格範囲維持)
JQA-EM3548(本社工場)

水谷ペイント株式会社はナノテクノロジーを機軸とした独自の重合技術、および塗料化技術などを基本とした製品を開発・生産・販売し、顧客が満足する品質保証体制を確立するとともに、事業活動が及ぼす環境影響の低減と安全を確保するため、品質および環境マネジメントシステムの継続的改善を経営者から従業員に至る全員が責任を持って推進する。

1. 顧客満足度を高めるため、顧客の真の要求(性能、価格、納期)を満たす製品およびサービスの提供を行う。
2. 高い技術力を維持し、たゆまぬ新技術の導入により、地球環境に対して負荷の少ない安全に配慮した製品を開発・生産し、販売推進する。
3. 健全な財務体質の確立と事業の継続的な成長を実現し、顧客からのゆるぎない信頼を勝ち取る。
4. 環境・品質・安全に関する法規制及び当社が従うべきその他の要求事項を遵守する。
5. 各部署で目的・目標を設定し、マネジメントシステムを定期的に見直し、その有効性を継続的に改善する。
6. 健康で明るく活力ある職場作りを努め、安全を阻害する要因を排除し、職場におけるゼロ災害と安全衛生対策に万全を尽くす。
7. 事業活動が周辺地域および地球環境に与える影響を評価し、資源の節減・有効活用および廃棄物の削減・再利用、有害物質の管理・削減を行う。

この方針は、掲示、教育を通じて全従業員及び組織のために働く全ての人に周知させる。
この方針は、外部からの要請がある場合には公開する。

平成17年7月1日

水谷ペイント株式会社

代表取締役社長 水谷 成彦



今年の6月にドイツの建築文化を学ぶべく「ドイツ建築視察ツアー」に参加しました。

羽田空港から約12時間。北海道より北に位置する樺太と同等の緯度にあるので、普段は長袖で過ごすのが丁度いいくらいの気候らしいのですが、6月というのに日中35℃を越える猛暑が続き扇子が手放せませんでした。

視察に訪れたのはドイツの北部、主にハノーファーからベルリン周辺です。街に到着し、さまざまな建築物を見学しているうちに気がついたのが景観についてです。ヨーロッパでは景観に対する法規制が特定地域だけではなく国全体でされています。そのため派手な看板や標識など、その街になじまない見た目のものはほとんどなく、自然を大切にしているため広大な平野が延々と続きます。

省エネにも力を入れており世界一の水準だそうです。ここでは特に風力発電の風車が目立ちました。(南にいくと太陽光発電が多いそうです。)

ドイツの省エネ政策

まず、ハノーファー郊外にある住宅展示場を訪問し、ドイツの省エネに対する考え方と住宅の省エネ基

準についてのお話を伺いました。ドイツでは、全エネルギーの約40%が建物内で使用される暖房などで消費されているそうです。これを受けて国は建物に関する省エネ政策に力を入れているそうです。住宅を購入する際、日本では税金控除や低金利住宅ローンなど購入金額に応じて補助金がもらえる制度がありますが、ドイツでは住宅の省エネ性能に応じて補助金が付与されるなど優遇される政策を行っています。この政策を行った結果、住宅購入者はより省エネ性能がある建物を選ぶようになり、国全体の省エネ化につながったようです。日本ではヨーロッパに比べ、省エネに重きを置く考え方があまり浸透していないようなので、省エネ住宅がなかなか広まらないようです。

その省エネ性能の判断基準となる住宅基準について、「KfW Efficiency House ○○」と表記され、○○に入る数字によって性能が格付けされます。(40+が現在一番良い性能だそうです。)

この展示場では2004年に建設された住宅が多く、いずれも当時の省エネを考えた作りになっていましたが、今回は残念ながら最新の規格「KfW Efficiency House 40+」に準ずる住宅は見ることができませんでした。

ドイツ建築視察ツアーに参加して

経営企画室 松良 昌彦



ハノーファーの住宅展示場 2004年当時の最高峰の省エネ住宅



ポツダム広場のソニーセンター
ガラス張りの近代建築物が多い

ベルリンの 近代建築と プラッテンバウ

ベルリンでは都市部と郊外とで大きく街並みが異なります。都市部ではベルリンの壁崩壊後、ポツダム広場を中心に急速に都市開発が進んだため、ガラス張りの近代的な建築物が多く目立ちます。一方郊外では、プラッテンバウと呼ばれる東ドイツ時代に建設されたプレハブ工法の集合住宅が多くあります。このプラッテンバウは、人口の減少に伴いその集合住宅の上階を取り除く「減築」が行われているということでした。



プラッテンバウ
減築により集合住宅の上の階が取り除かれている。



ユニテ・ダビタシオン
コルビュジェが設計した集合住宅



馬蹄形の集合住宅
池を囲むように円形に設計された集合住宅

古い住宅の人気

世界遺産に登録されているル・コルビュジェが建築した集合住宅ユニテ・ダビタシオンや、ブルーノ・タウトが建築した馬蹄形の集合住宅を視察することができました。これらの集合住宅は世界遺産であるにも関わらず、今でも実際に人が住んでいました。ドイツでは、新しい住宅より古い住宅のほうが、「長持ちする」と評価されて人気があるようです。(ちなみに全てカイムの塗料が使われています。)

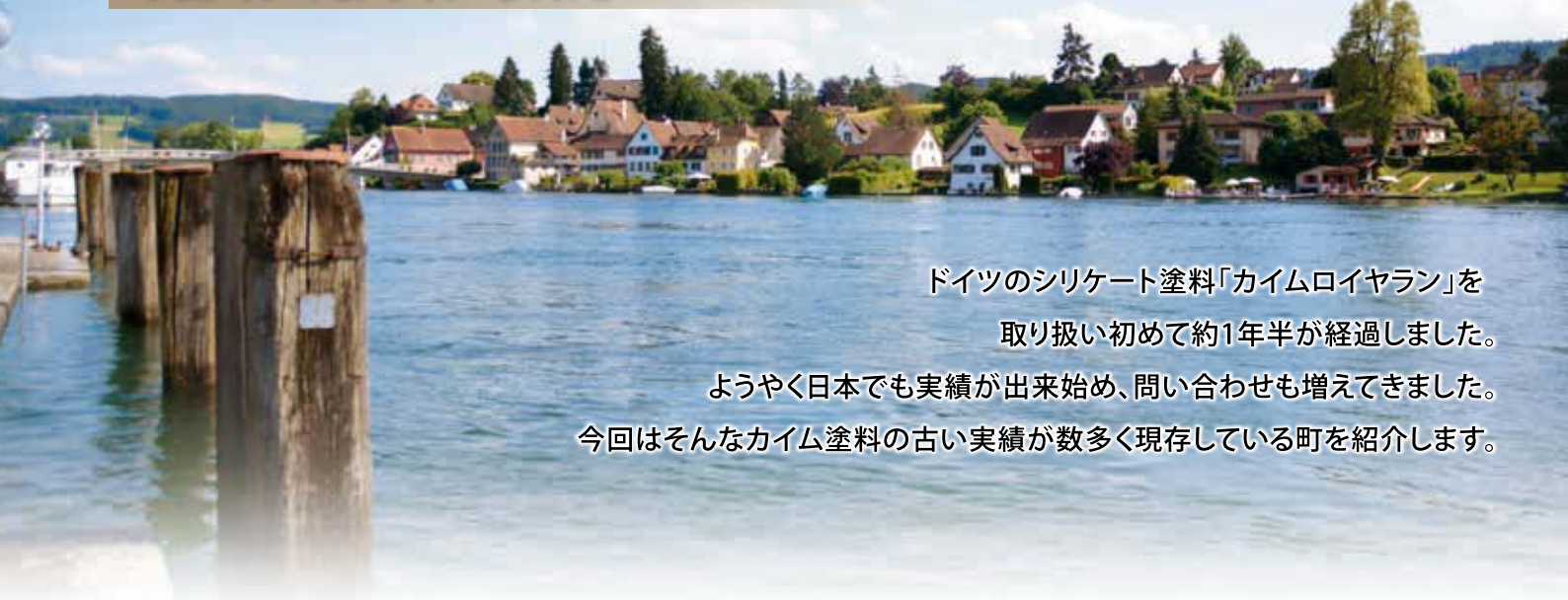
今回のドイツ視察では、ドイツの省エネ文化を考えながら様々な建築物を視察することができました。ドイツと日本は、気候、地震の有無、白アリ等いろいろな面で異なるため、簡単にその建築文化を取り入れることはできませんが、参考にしながら日本でもよりよい生活文化を営めればと思います。



ベルリン中央駅
ガラス張りの近代的な駅だが、その裏側では現在再開発がすすめられている。

「カイク」の町

-シュタイン・アム・ライン-(スイス)



ドイツのシリケート塗料「カイクロイヤラン」を
取り扱い初めて約1年半が経過しました。

ようやく日本でも実績が出来始め、問い合わせも増えてきました。

今回はそんなカイク塗料の古い実績が数多く現存している町を紹介します。



今でも美しく残るカイク塗料で描かれた外装

スイスのライン河畔にある、人口3,000人程度の小さな町「シュタイン・アム・ライン」。その小ささゆえ、町の隅々まで歩いてみてもわずか1時間程度で回ることができます。「シュタイン・アム・ライン」とはドイツ語で「ライン川の宝石」という意味で、その名のとおり壁に描かれた Fresco 画※が鮮やかなとても美しい町並みが私たちを出迎えてくれます(裏表紙写真)。

この壁に描かれた絵画に使用されているのが、カイクファルベン社の塗料です。この町にはカイクファルベン社の塗料が使用された中でも特に古い物件が多く、100年以上前に塗装された壁絵が今でも美しく存在しています。

そもそもドイツの塗料メーカーであるカイクファルベン社の物件がなぜスイスに多く現存しているのでしょうか。それは戦争の歴史にあります。ドイツでは戦争によりほとんどが破壊されてしまったのですが、スイスは永世中



ホテル・アドラー(1885年塗装):カイク社の記録に残る最も古くに塗装された物件

立国(1815年~)のため戦争に巻き込まれずにすんだので、古い建築物が当時のままの状態が残っているのです。

その中でも特に1880年代から1930年代くらいに塗装された建築物が多く残っています。

たとえばシュタイン・アム・ラインの町役場では1900年にカイク塗料が塗装されたそうです。外壁に描かれた壁絵の中で最も古いものとしては、1885年に塗装されたホテルレストラン・アドラーがあります。状態がとてもいいようで、塗装後131年経った今でも塗膜が残っています。



シュタイン・アム・ラインの町役場に描かれている美しい絵画(1900年塗装)

※ Fresco 画
砂、石灰を混ぜて作ったモルタルで壁を塗って、その上に水で溶いた顔料で絵を描く方法



シュビッツの市庁舎(1891年塗装):同じくスイス(シュビッツ)に残る古い物件。外壁に芸術的な絵画がカイク塗料で美しく彩られている。

パートナー施工店様勉強会、新製品発表会

パートナー施工店様勉強会を各地区で開催しました。

今年は大型新製品ナノコンポジットFの発売のためたくさんの方々の参加が見込まれ、パートナー施工店様、販売店様と別々に開催しました。全国18回、過去最高となる761名の方々に参加していただきました。



会場によっては、特別講演として小室大輔先生(エネクスレイン代表)をお招きして、建築、省エネ、デザイン、あらゆる文化で先進国であるドイツの情報を日本と比較して分かり易く説明していただきました。

2/18(木)	札幌会場	札幌コンベンションセンター
2/24(水)	広島会場	広島県産業技術交流センター
2/27(土)	大阪会場	水谷ペイント本社
3/2(水)	岡山会場	コンベックス岡山
3/4(金)	仙台会場	日立システムズホール仙台
3/10(木)	福岡会場	福岡県中小企業振興センター
3/11(金)	熊本会場	熊本市流通情報会館
3/17(木)	東京会場	オアシス神田
3/18(金)	埼玉会場	水谷ペイント埼玉工場
3/25(金)	中部会場	グリーンパレス春日井
4/6(水)	仙台会場	日立システムズホール仙台
4/7(木)	埼玉会場	埼玉工場
4/8(金)	東京会場	ハロー貸会議室東京駅前ビル
4/14(木)	広島会場	広島県産業技術交流センター
4/15(金)	福岡会場	福岡県中小企業振興センター
4/21(木)	中部会場	グリーンパレス春日井
4/22(金)	大阪会場	大阪研修センター
7/7(木)	鹿児島会場	谷山サザンホール



広島会場(2月24日)



広島会場(4月14日)



鹿児島会場(7月7日)



熊本会場(3月11日)



福岡会場(3月10日)



福岡会場(4月15日)

2016を全国開催

内 容

・新製品紹介

1. ナノコンポジットF
2. パワーアシストクリヤーF
3. ポウジンテックス プロエボプライマー
4. バイオマスR-Si艶消
5. 塩ビ鋼板NBプライマー

・特別講演:「増やす思考・減らす思考」

エネクスレイン 代表 小室大輔

・最新物件紹介

- ・遮熱塗料のJIS動向
- ・受注が絶えない業者になるために
- ・床用塗料の選び方
- ・ドイツの住宅建築と日本の今後

※会場によって一部内容が異なります。



仙台会場 (3月4日)



札幌会場 (2月18日)



仙台会場 (4月6日)

北海道



岡山会場 (3月2日)



中部会場 (3月25日)



中部会場 (4月21日)



大阪会場 (2月27日)



大阪会場 (4月22日)

青森

秋田

岩手

山形

宮城

福島

石川

富山

新潟

群馬

栃木

福井

岐阜

長野

埼玉

茨城

山口

島根

鳥取

兵庫

京都

滋賀

三重

愛知

山梨

東京

千葉

愛媛

香川

和歌山

静岡

神奈川

高知

徳島



埼玉会場 (3月18日)



埼玉会場 (4月7日)



東京会場 (3月17日)



東京会場 (4月8日)



当社最寄りの沿線でなじみのある阪急電鉄。今回は、工場のさまざまな箇所に当社の製品を採用していただいている阪急電鉄株式会社・正雀工場様を取材させていただきました。

こちらの工場では、阪急電鉄および能勢電鉄の全営業用車両の検査や整備を行っています。

そのため、敷地内に隣接して阪急京都本線の車両基地、正雀車庫があり、敷地内に入るとまずこの車両基地が見えてきます。何本もの車両が並んでいるところを線路の中に入って見ることができ、その光景に圧巻されます。敷地面積はなんと甲子園球場の1.6倍。まるで工場の中に小さな駅があるように感じました。

工場の一角には閉園した宝塚ファミリーランドから移転されたレトロな車両が多数展示されています。

車両の外装には塗装工程が記されているものもあり、貴重な資料を拝見することができます。

工場での主な業務は車両の検査・整備ですが、ほかに社会貢献活動も行っています。その中でも人気があるというのが「阪急レールウェイフェスティバル」。1994年に工場見学を開始以来、毎年春と秋に開催され、工場内を見学しながら「ちびっこ電車」や「行き先案内板ビンゴ」など、30以上ものイベントを楽しむことができます。先ほど紹介した車両基地や、電車を軽々と持ち上げる35tクレーンの実演など、普段はなかなか見ることが出来ない阪急電車の裏側

阪急電鉄 正雀工場

〒566-0013 大阪府摂津市阪急正雀1番2号 <http://www.hankyu.co.jp/>



阪急レールウェイフェスティバルの様子



社員の方が作られたミニ阪急電車



を見ることができるということで、鉄道ファンの方はもちろん、家族連れなど子供から大人まで毎回幅広い年齢層の方が訪れるそうです。鉄道ファンの方に人気なのが、不要になった車両の部品市。どんなものが売りに出されているのか一度見てみたいものです。

社員の方々による手作りのイベントなのですが、ベビーカー預かり所の設置や安全面の配慮からミニ阪急電車の製作まで、お客様に楽しんでいただけるように細部までこだわって作り上げられています。人気のイベントなので、事前応募制とのこと。日本各地からの応募の中、毎回1万人近くの方が抽選で選ばれ来場されるそうです。

そんな多くのお客様が工場に入る際、まず目にするのが工場の顔とも言える①番扉です。

この扉には当社の製品であるマイルドUが塗装されています。阪急電車といえば創業当初から変わらない

マルーンカラーの車両。工場内に入って一番に目に入る場所ということで、イメージの強いマルーンカラーにこだわり塗装されたそうです。しかし、車両と同じ色を壁用塗料で再現することは難しく、苦勞されたそうです。そんななかなか出すことが出来ない色を見事再現することができたのは、施工店様と当社営業の努力の賜物といえるのではないのでしょうか。

団体のみの受付ですが、社会見学の依頼も多く、幼稚園から小中学生をはじめシニア世代の方まで見学にいらっしゃるそうです。特に夏休みは小学生で賑わっているようです。工場内すべてを余すことなく見学できるということで、鉄道好きの芸人など有名人も取材でしばしば訪れるとか。

ご興味のある方は、事前応募の上、一般公開時の「阪急レールウェイフェスティバル」に是非訪れてみてはいかがでしょうか。



マイルドUで塗装された①番扉



塗装工程が記されたレトロな旧車両



外装用塗料「ナノコンポジットF」開発秘話

水谷ペイント株式会社 技術部3グループ
主任 赤木 修一郎

「ナノコンポジットW」をさらに進化させるべく開発に成功した話題の新製品「ナノコンポジットF」その開発秘話を技術担当者に伺いました。

Q.いつから開発を開始したのですか？

A.2013年頃から開始しました。

Q.きっかけは何だったのでしょうか？

A.2013年の3月に経産省を中心とした取り組みがあり、そこで「ナノコンポジットWはフッ素同等の耐久性を持つ」という結果が出たんです。それで、「じゃあナノコンポジットWに実際にフッ素樹脂を加えるとどうなるんだろう」と思ったのがきっかけです。

この時はナノコンポジットWが一番の製品と感じていたので、それ以上の製品をつくる必要はないと思っていたのですが、「ここで満足していいのか、さらに性能がいいものができるのではないかと考え始め、さっそく暴露試験を行って評価したところ非常に良い結果が得られました。

Q.なるほど。前例のないことを試みたということで、大変だったことなどもたくさんあったのではないのでしょうか？

A.そうですね。まず、一般的に外装用フッ素樹脂塗料は雨筋などの汚れが付きやすいことが知られています。そのためナノコンポジットエマルジョンの低汚染性能を最大限に発揮、維持できるような、フッ素樹脂の添加量と添加方法を見つけ出す必要がありました。ナノコンポジットエマルジョンとフッ素樹脂が比較的相性が良いことは分かったのですが、その配合割合がなかなか難しく、30～40パターンほど配合を作りました。

こうして試験を繰り返しているうちに、ちょうどいい配合を見つけ出すことができました。

試験を行う中でもう一つ、フッ素樹脂が加わるとナノコンポジットエマルジョンの安定性がよくなることを発見しました。この発見から「ナノコンポジットW」の貯蔵安定性の向上にも繋げることができました。(旧ナノコンポジットWは、夏場3カ月の使用期限が問題視されていた。)

Q.耐候性と貯蔵安定性を同時に向上させる方法を発見されたわけですね。凄いです。

何故、耐候性と貯蔵安定性が向上したのですか？

A.まず、貯蔵安定性はフッ素樹脂エマルジョンに含まれる添加剤によって向上させることができたのだと考えています。不安定だったナノコンポジットエマルジョンにフッ素樹脂を加えることで耐候性と貯蔵安定性を最大限に引き出したのだと思います。

また、今回の開発により、フッ素樹脂の耐候性の中に優劣があることを発見しました。

Q.耐候性が非常に良いことで知られるフッ素樹脂塗料ですが、その中でも性能のいいものと劣るものがあるんですね。

何故、二つに分かれるのでしょうか？

A.フッ素樹脂塗料の中でも安価なものと高価なものがあるんです。もちろん安価なものは高価なものに比べると耐候性が劣ります。おそらくフッ素成分の含有量の違いによるものだと思います。

Q.では、「ナノコンポジットF」は耐候性などの性能がとてもいいということなので、フッ素含有量が多いと思うのですが、それに比例して販売価格も高くなってしまっているのでは…？

A.いいえ、そんなことはありません。もともとナノコンポジットエマルジョンがフッ素並みの耐候性を持っており性能がいいのですが、そこにフッ素樹脂を加えることでさらなる耐候性の向上を実現させることができました。

耐候性については、ナノコンポジットWが安価なフッ素樹脂塗料に近いのに対して、ナノコンポジットFは高価なフッ素樹脂塗料と同等と言えます。(図1)

つまり高価なフッ素樹脂を加える量を抑えることができたので、価格も抑えることができたのです。

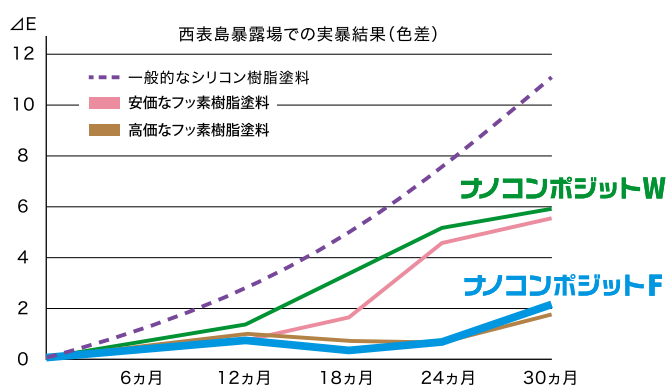


図1

Q.高品質なのに低価格なのはお客様にはうれしいことですね。その他にもこだわったところがありましたら教えてください。

A.塗料粘度にもこだわりました。今まで弊社の製品をお使いになられた方は驚かれるかもしれません。様々な塗料を取り寄せ、塗り比べを行い一番塗り易くキレイに仕上がる粘度にしましたので、是非いろいろな方に感想を伺いたいですね。

Q.最後に、所感をお願いします。

近年、落ち着いた印象を与える艶消塗料の要望が、内壁だけでなく外壁においても増えてきました。従来、艶消塗料は艶有塗料と比較して、汚れやすい点と耐候性が劣る点から外壁からは避けられる傾向がありました。しかし、ナノコンポジットシリーズはもともと樹脂自体が艶消であるため、低汚染性と耐久性を遺憾なく発揮できます。その中でもナノコンポジットFは、ナノコンポジットWの独自技術を継承し、さらに進化させることができました。開発担当者として、多様化するニーズを掴んだこの製品を幅広く知って頂けるよう期待しております。ナノコンポジットFは、全ての塗料を過去のものにする塗料になると確信しています。



施工実績第1号!

1様邸

住 所:福岡県小郡市
 施工日:平成28年4月23日～
 施工店:木村塗料(株)工事部
 壁 面:ナノコンポジットF
 (一部パワーアシストクリヤーF)
 屋 根:快適サーモWF



塗装前:壁面に藻が発生し、屋根、壁共に白化していた。



施工店様の声

3月に参加した「パートナー施工店勉強会」で新製品が出るとの話しを聞き、急遽無理を言って製造してもらいました。施主の要望である藻が付着し難く、耐候性の良い塗料という事にピッタリと一致したので、屋根・壁オールフッ素仕様で提案しました。



施主様の声

家の近くに池があるため、湿気が多く壁に藻が付きやすいのが悩んでした。ナノコンポジットFの艶消し仕上げは、落ち着いているので気に入ってます。サイディングボードは敢えて艶有りのクリヤーにしましたが、模様が生き返った感じがします。水の引き方も今までとは違うようです。屋根の遮熱塗装も含めて、全てフッ素塗料にしてもらいましたが、仕上がりには大変満足しています。

下地の意匠性を活かす!

窯業系サイディング用2液型フッ素樹脂クリアー塗料

パワーアシストクリアーF

1. はじめに

窯業系サイディングは平成7年頃からすでに多くの物件に使われており、改修の時期を迎える基材は毎年1億m²を超えます。(市場における高意匠外壁材は全体の50%以上)

塗り替えにおいて一定の需要が見込める分野であることから、サイディングボード用の改修塗料の開発を行いました。

サイディングボードの特長として意匠性の高さが挙げられますが、改修の際にエナメル塗料(※)を塗装してしまっただけの意匠性が失われてしまいます。

また、それぞれの家のサイディングボードは、家主が気に入った柄を選んでいるため、同じ意匠での改修要望も増えています。

そこで、クリアー塗料ならサイディングの質感をよみがえらせ、意匠性を維持したままサイディングの寿命を延ばすことができます。

数年前に弊社では窯業系サイディングボード用のクリアーとして、シリコン樹脂系のパワーアシストクリアーを開発し好評を得ていますが、今年フッ素樹脂のクリアー塗料(パワーアシストクリアーF)を開発し、さらに高い耐久性を実現させました。

2. 開発

パワーアシストクリアーFは、耐候性が必要とされる屋根用塗料として社内で実績のあるパワーフロンマイルドの樹脂を応用し、壁用に派生させた塗料です。

パワーアシストクリアーFの開発で配慮したのは基材への付着性と低汚染性です。

サイディングボードにはトップコートや表面処理の方法など非常に多くの種類があるため、なるべく多くの基材に応用できるようさまざまな基材を取り寄せて試験を繰り返し行いました。

特に、金属系サイディングと窯業系サイディングの両方に付着するように力を入れて試験を行いました。試験枚数が多かったので大変でしたが、繰り返し試験を行った後、金属系サイディングへの付着性はあまりよくなかったため、窯業系サイディング仕様になりました。

また、フッ素樹脂塗料は一般的には汚れやすいですが、そこに水谷の培ってきた低汚染技術を駆使し、雨筋汚れをおさえ外壁の美観を維持できるよう超低汚染性を付与しました。



(※)エナメル塗料:クリアー塗料に対して色のついた塗料のこと。

塗装した箇所

ボウジンテックスプロエポプライマーは
塗装するとこのような仕上がりになります。

これ一本で解決!

床用2液型エポキシ樹脂プライマー

水系 **ボウジンテックス** プロエポプライマー

未塗装面

1. はじめに

工場、倉庫などの床には「強化コンクリート」という普通のコンクリートとは違う基材が施工されていることが多々あります。「強化コンクリート」は、緻密で強固な表面を形成するので粉じんの発生がほとんどなく、耐久性の高い基材です。

しかし、緻密なために塗料の付着が非常に悪く、専用のプライマーを使用しないと床用塗料を塗装することができません。従来は溶剤系塗料である「ボウジンテックス強化コンクリートプライマーⅡ」で対応してきましたが、水系のプライマーを望む声が増えてきました。

2. 開発

下地への付着性と強度を考慮して2液エポキシ樹脂タイプで設計しました。

付着性試験を行うに当たって困ったのが強化コンクリートの「試験基材」が販売されていないという事でした。そこで、本物の強化コンクリート以上に緻密な試験基材(さまざまな溶剤系プライマーのほとんどは剥離するという厳しい条件の試験基材)を独自に作成しました。

そして、このような厳しい状況下で付着性に大きく起因する樹脂と体質顔料の比率を細かく検討することにより、すぐれた付着性を実現することができました。さらに、単純に強化コンクリートに付着するだけでなく、「乾燥性の早さ」「上塗り適性の幅広さ」などの性能も付与する必要があったので主剤に特殊なアミ

ン樹脂(硬化剤はエポキシ樹脂)を採用し、卓越した性能を持つプライマーが完成しました。

3. 特長

<様々な床面に適用可能>

従来の水系下塗り塗料では下地に応じて製品を使い分ける必要がありましたが、水系ボウジンテックス プロエポプライマーがあればこれだけでほとんどの床現場に対応できます。

- 強化コンクリートなど、緻密な表面のコンクリートにすぐれた付着性を発揮します。
- 各種旧塗膜にすぐれた付着性を発揮します。
- 通常のコンクリートにも付着します。



<荷姿>
主 剤:4kg(1kg)
硬化剤:8kg(2kg)



技・心・つながりを大切に 顧客に愛される 塗装店を目指す

有限会社 めら塗装工業
代表取締役 女良 康臣 様

今回は、千葉県いすみ市の有限会社めら塗装工業様にお話を伺いました。地元と人のつながりを大切にし、戸建住宅を中心に1つ1つ丁寧な仕事を心がけておられます。

Q.会社のモットーは

施工店や工務店等に限らず、どこに行っても我が社を知ってもらえるような会社になりたいと常々思っています。そのためには、良い仕事、サービス精神を大切に仕事に励んでおります。そのサービス精神は、追加工事等にとどまらず、時には、お客様の私用にお付き合いするなど、お客様とのつながりを一番に大切にしています。

Q.ご趣味は何でしょうか？

私の趣味はツーリングです。5人のツーリング仲間と各所の観光とご当地料理を楽しみに、年3回、日本各地へとツーリングに出かけています。思い出深いのが秋田で味わったご当地料理です。牡蠣、比内地鶏などを用いて作られた数々の料理がとておいしかったです。ご当地料理を食べるときには、地元の人に聞き、お店を選んでいきます。そのことがきっかけで過去には、ツーリング先で出会った人と朝まで飲み明かすこともありました。今は、

ツーリングをしていることで、日本各地に友達ができ始めています。

Q.社長の夢は何でしょうか？

日本全国に我が社の名前が知れ渡ることです。今は、まだ地元で仕事に励む一施工店ですが、ツーリングでできた友達を通じて仕事に出かけるようなことがあると良いなと思い、ツーリングも続けています。『遊びが仕事、仕事遊び』みたいなもので、趣味のツーリングでできた全国の友達から仕事をもらい、仕事で出かけた先で各所の観光や、ご当地料理が楽しめるようなライフスタイルを築きたいと思っています。





新社屋、完成 ～社員のため、顧客のため、 地域のため～

株式会社 松本薬品

代表取締役社長 松本 信吾 様

今回のお客様は、三重県の株式会社松本薬品 様です。

同社は、伊勢市・松阪市・津市・上野市に各店舗を設置されています。

社長 松本様にお話を伺いました。

Q.新社屋に向けた感慨をお聞かせ下さい

社屋の立て替えを決断したのは、単に老朽化し物理的に限界になった・・・という理由で、決して業績好調だったからというわけではございません(笑)。事務所がぼろくても仕事はできます。ただ、塗料を販売する企業として、自社があまりにみすぼらしいのはいかななものか、又、社員が誇りを持てるように、今後いい人材を確保していくためにも不可欠と考え決断しました。新しい社屋は、単に商品を受け渡す場所としてだけでなく、情報の発信基地として、お客様の商売の縁を繋ぐ場所として・・・という思いから、2階に40名程度の方が一堂に会せる多目的ホールを作りました。展示会、講習・勉強会はもとより、お客様主催のイベントなどに御活用いただけたらと思っております。又、今後高い確率で発生が想定される南海トラフ巨大地震に備え、防災倉庫・避難場所としての機能をもたせました。災害時、お客様、社員はもとより、地域の方のお役にたてられれば幸いです。



Q.社歴を教えてください

私の祖父が昭和12年に、主に歯科向けの医薬品の製造販売業として創業し、自分で4代目となります。戦後昭和26年に法人化し、時代の流れとともに、工業用薬品、塗料販売へ軸足を移し、その後、医療用ガスの販売事業も始め、現在は、塗料・工業薬品・医療ガス、この三つが事業の三本の柱となっていま

す。三重県南部は製造業の市場がそう大きくない為か、弊社だけでなく、工業薬品と塗料の販売を兼ねている販売店が多いですね。弊社も社名が松本薬品なので塗料販売業と思われていないことも多く、かくなる私も入社するまで自社のメインの事業が塗料販売だとは知りませんでした。

Q.社長のご趣味は何ですか

高校時代に始めた空手から始まり、大学でキックボクシング、卒業してからブラジリアン柔術・総合格闘技(道場の代表)と、格闘技は趣味以上職業以下レベルでやってきました。現在は、神事に必要不可欠でありながら、生産者が激減し存続の危機にある「精麻」(大麻繊維)の生産を、伊勢神宮が鎮座する地元伊勢で実現するのが夢です。現在、収益をあげていないという意味で趣味みたいなものですが、いつか自社の事業として確立したいですね。是非一度、「伊勢麻」振興協会のHP(iseasa.com)をご覧ください。日本の伝統・神事を支える素材が危機的状況です。



Q.水谷ペイントへの要望をお聞かせ下さい

弊社にとっては「床」と言えば「ミズタニ」。お客様から特に商品・メーカーの指定がない限り床の塗料は水谷ペイントです。床材以外も『ナノコンポジット』シリーズはじめキラリと光る商品を自社開発しているのも水谷ペイントさんの魅力ですね。数年前から要望しておりますが、床材に強い塗料メーカーとして、コンクリートの床の質感を損なわない着色&表面強化材を開発して欲しいです。今後も水谷ペイントならではの「目の付け所」で、他社にない魅力的な商品開発を期待しております。



before

広島県：ビル
屋根：ルーフマイルドU 壁：ナノコンポジット W
施工：(有)新広島塗研



after



福岡県：戸建住宅 屋根：快適サーモ WF
壁：ナノコンポジット F・パワーアシストクリヤー F
施工：木村塗料(株)工事部



before

福岡県：テンポス福岡店
屋根：バイオマス R-Si
施工：クリーンサービス福岡



after



福岡県：戸建住宅
屋根：快適サーモ WSi 壁：ナノコンポジット W
施工：木村塗料(株)工事部



愛知県：戸建住宅
屋根：パワーシリコンマイルドII



栃木県：東京電線
屋根：快適サーモ Si



群馬県：JA群馬
屋根：バイオマス R-Si



埼玉県：松屋西所沢店
屋根：パワーシリコンマイルドII
壁：ナノコンポジット W



before

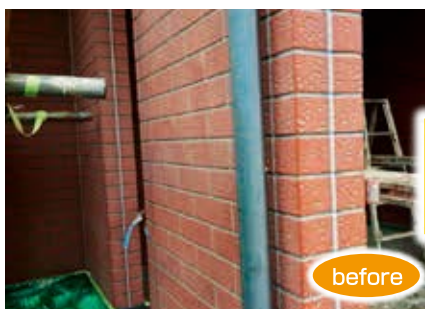
岡山県：戸建住宅
壁：ナノシリコン W
施工：山中塗装



after



大阪府：医療法人清順堂ためなが温泉病院
屋根：快適サーモ Bio 壁：ナノシリコン W
施工：(株)小野工建



before

長崎県：戸建住宅
壁：ナノコンポジット F・パワーアシストクリヤー F
施工：長畑塗装



after



愛媛県：東温市ふるさと交流館
壁：ナノコンポジット W



長崎県：戸建住宅
壁：ナノコンポジット F
施工：長畑塗装



大分県：カフェレストラン
壁：ナノコンポジット F
施工：(株)岩工技建



大阪府：ダイケン
壁：ナノシリコン W



大阪府：株式会社山福
壁：快適サーモ Si



兵庫県：双和化学産業株式会社
壁：ナノコンポジット W
施工：廣林塗装



奈良県：メゾンドール西大寺
壁：ナノコンポジット W
施工：近畿ホーム工営(株)



福島県：はとや
壁：ナノシリコン W



福島県：南湖ウイング
壁：ナノシリコン W
施工：山田塗装(有)



埼玉県：大谷ビル
壁：ナノシリコン W
施工：(株)南雲建装



塗装実績



before

茨城県：レジャー施設
壁：マイルドU 施工：(有)小川塗装工業



after



神奈川県：団地
壁：ナノコンボジットW



神奈川県：賃貸アパート
壁：ナノコンボジットW 施工：(株)HAMA 塗装



神奈川県：戸建住宅
壁：ナノコンボジットW 施工：(株)HAMA 塗装



神奈川県：戸建住宅
壁：ナノコンボジットW 施工：(株)HAMA 塗装



広島県：戸建住宅
壁：ナノコンボジットW 施工：(有)リブルクリエイト



広島県：戸建住宅
壁：ナノコンボジットW 施工：(有)リブルクリエイト



広島県：戸建住宅
壁：ナノコンボジットW 施工：(有)リブルクリエイト



before

広島県：神戸鋳金工業
床：ボウシンテックス #8000 施工：アスピー(株)



after



京都：ニッタハウス株式会社・厨房
床：ボウシンテックス UコンII



before

岡山県：倉庫
床：水系ボウシンテックスU



after



宮城県：南気仙沼水産加工所
床：ボウシンテックス UコンII



before



after

島根県：自動車整備工場
床：ポウジンテックス MMA 施工：アスピー(株)



before



after

埼玉県：JR 車両センター
床：ポウジンテックス MMA



before



after

富山県：カローラ富山(株)高岡テクノショップ
床：ポウジンテックス #8000・ポウジンテックス#5000U



before



after

京都：機械製造メーカー
床：ポウジンテックスエポワイド



before



after

栃木県：コマツ
床：ポウジンテックス#8000



before



after

奈良県：斑鳩中学校・プール
床：ポウジンテックス #300



神奈川県：酪農施設
床：ポウジンテックス UコンII 施工：(株)日誠cfc



神奈川県：倉庫
床：ポウジンテックス#8000 施工：(株)日誠cfc



千葉県：機械工場
床：ポウジンテックスエポワイド



カイク塗料で彩られた美しい
外壁が今でも残っている。



問い合わせ先

●水谷ペイント株式会社

東日本開発部 TEL : 03-3865-8177 西日本開発部 TEL : 06-6391-3401

※カイク塗料の施工は注意点多いため、物件を把握した上での対応となりますので具体的な内容が分からないとご紹介できません。あらかじめご了承願います。
ご興味・ご関心がございましたら是非お問い合わせください。

社報 菱みず Vol.74

発行日：平成28年8月23日 編集人：経営企画室 山田 和由

発行所：水谷ペイント株式会社 大阪市淀川区西三国4丁目3-90 TEL.06-6391-3151 FAX.06-6391-1101